一[illegible]市元豆[illegible]六吊四百文至六吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
布共上車三十餘輛
豊車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一連　一圓
一フールスカプ全　四圓
一中判洋紙全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一察紙　四十枚綴　十四錢

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一飯筒　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一厨房用戸棚　十圓五十錢以上十圓

一綿毛布　一枚モノ　八[illegible]
一長火鉢　四圓以上六圓五十錢
一箱火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一宜徳火鉢　一對　二圓以上三圓五十錢　六圓以上九圓

Rate of Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料
一特別廣告
一半月以上一ケ月以內銀十五仙乃至十[illegible]
一長期連揭減價面議
發行所
清國營口中盛街
満洲日報社
(電話二九番)

満州日報

特別廣告

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

告示

一本年二月より六月に至る牛家屯土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尙納付せさるものは其土地の貸下を廢除す
明治三十九年六月二十六日
營口軍政官　與倉喜平

公告

電話交換手募集
當局電話交換手を募集す志願の者は(滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業若しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る)志願書に自筆の履歴書を添へ携帶出願すへし
明治三十九年六月
營口軍政署電話局

日本郵船株式會社

瀛船出帆廣告
竹島丸　十三日午前　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸

大阪商船株式會社

營口出帆廣告
横濱丸　大連出帆　十八日出帆　司門神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マテ、未明出帆ノ分ハ前日午後五時マテ
營口代理店　旗昌洋行(電話二六番)

潮州丸　十二日入港
代理店　ブクレユ兄弟商會　東營口公園地横　遠來洋行(電話二十三番)

瀛船出帆廣告

万成源丸　龍口登州府定期
摩耶山丸　十三日　門司神戸行
第二乾坤丸　十三日　門司行
海岸東税關西　松茂洋行船舶部　電話(五二五七)

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
横濱正金銀行牛莊支店
本支店出張所　横濱、神戸、東京、長崎、大阪、倫敦、里昂、紐育、桑港、布哇、孟買、香港、上海、漢口、天津、北京、大連、旅順、奉天、遼陽、安東縣
(第十七支配人室)(電話百八番)(貸[illegible])

正隆銀行

營業項目
一定期預金(長期存欵)　三ケ月　五分　六ケ月　挨年五分五厘　一ケ年　六分
一當座預金(暫存欵)　挨年　四分五厘　日步　一錢二厘三毛
一小口當座預金(零碎暫存欵)　挨年五分一厘一毛　日步一錢四厘
一送金爲換取組先(匯兌)　東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金(放利)　一般財産並に土地建物の管理引受くると不動產抵當貸附金の委托を受引くると
一附帶ノ業務
軍政署認可
營口西北街第二百三十號
支配人　深水十八(電話二百十番)

○本行受入の貨幣は軍票及正金一拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尙近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

●ぬ號勸業貯蓄債券(五圓券)發賣

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布商花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋牌火柴鐘表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人　田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛儀院內
電話(店一八三番　住所五五番)

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋貨糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運等宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡裝輪船一船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜發展有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉
貴客賜顧請到小號面議是幸
總司理人　秦亮卿謹白

東永茂

本號在營口創辦油榨生意多年以本營業并代客辦理[illegible]房屋經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事　潘玉田　副理事　金德魁
設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南對乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌庶不致誤
本主人敬啓

仁裕號

[illegible]各等火輪船生意兼賣各種洋什貨[illegible]石等此佈
營口西大廟街路北督乙第十三號

志岐組

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

永順洋行

本行各寳[illegible]開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許[illegible]運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明倶照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　西義順棧內　東西價(電話九十五番)(電話九十八番)

營口承文信記書坊

現廟西大街粤東會館側阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙士商賜顧者價照批發格外克己不悞
本號主人謹白

三井

電話　第六十六號　第九十一號

○發售新到洋白糖
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部

今回倉庫所在地(靑堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙朱斐章　王鹿芹先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　貴商所樂聞乎如蒙　賜顧請逕至大德亭內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己　諸公賜顧請　駕臨大德亭內面議不誤
王鹿芹　朱斐章
郭漁笙　仝啓

洋行

電話　第六十六號　第九十一號

飯塚工程局材料部

營口元神廟前
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の名產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

志岐組木料棧材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克己凡中外士商光顧面議願請到本棧

鐵道遼河裕和盛運輸局

(電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷
啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

丸重轉運行

營口西北街(電話十八號)
既設分局　牛家屯車站(電話四十六號)　遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥專賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商　武田洋行
營口元神廟街第十號

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號　門牌便是

靑堆子　菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一槪發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

SP　糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西(電話一百九十二号)

營口遼河輪船　同濟公司

本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知
營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)嫣媽咧(軍旗牌)隆佑來福(雙仙鶴牌)利(百合花牌)提利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳天巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣
東營口西北街(舊代々木公司)
日本官煙營口專賣處

東京電報 (七月八日發電)

●上海清商の懇祈 在上海なる清國商人團體は北京外交團に對し大連に釐金局を設け朝鮮國境の密輸入を防壓し遼河の鐵橋を取り去る手段を講ぜんことを請へり

●炭礦回收の訓電 清國外務部は千金山炭坑を支那商人の經營に係ると稱し之を支那政府に還附するやう日本政府に交渉すべしと楊公使に訓電せり

奉天電報 (九日午後一時十分特派員發)

●荻原領事の出張 荻原總領事には或用向を帶び遼陽、撫順を視察すべく本日午後二時發の滊車にて出發すべし

遼陽電報 (八日午後四時卅五分特派員發)

●副領事館新設準備 萩原總領事には明日午後二時當地に來着の豫定にして其用向は當地に副領事館を設置するに付、打合せをなす爲めなりと傳へらる

北京電報 (七ヶ七日發電)

●清露兩使の會見 五日清露交渉委員居紹儀は露國公使ポコチローフと會見せるも談判何等の進捗を見ず

倫敦電報 (七月七日發電)

●ブライアンの演説 デモクラット党の大統領候補者たるべきブライアンは倫敦に於て米國獨立祭を主催し其席上に於て今後白色人種は一層高尚なる觀念を以て東洋の黒色人種を教育するの必要を說き更らに日本の寛仁なる勢力を歡迎し清國を改革するは列國の好伴侶たらしむる所以なりと說けり

●軍備縮小と前陸相 英國前陸軍大臣ブロドリック氏はタイムスに寄書し政府提出の軍備縮小案を悲觀せり

●獨皇太孫の命名 獨乙皇太孫の命名期は八月十二日に行はれウイルヘルムと命名の筈なり

雜報

●帝國の海軍力 我海軍の戰時計畫に據る安藝、薩摩の二戰艦、鞍馬、伊吹、筑波、生駒の四裝甲巡洋艦及び最上、利根、淀の三巡洋艦、三等砲艦、伏見並に三十隻の新式驅逐艦は安藝、伊吹の二隻を除き何れも本年中に竣成若くは進水の運びに至るべく驅逐艦の如きは現に竣成就役せるものあり前記二隻とても明年中には進水すべく其計上總噸數十五萬餘噸に現在艦艇の噸數を加ふる時は明後年に於ける我海軍力は優に五十二萬餘噸に達すべし左れとも此勢力は決して永久に存續すべきものにはあらず艦艇の耐久力は五年乃至十年を限度とし其十五年に達せるものは早く既に老朽の列に入らさるへからず故に明治三十年以前に進水したるものは勿論三十年以後のものにありても漸次老朽の列に加はり今後更らに十年を經過するに於ては廢艦に近きもの漸く多く僅少の補充にては現在の實勢力をも持續し得さる事となるへく近く老朽の伍列に入り又は廢艦せられんとするものゝみにても浪速、高千穗、橋立、嚴島、松島、千代田、和泉、秋津洲の八巡洋艦鎭遠、扶桑、金剛、比叡、天龍、大和、葛城、武藏、高雄の九海防艦盤城、摩耶、鳥海、赤城の四砲艦并に八重山、龍田の二通報艦、計二十三艘を算すへく前記諸艦中浪速以下の巡洋艦の如き三十七八年の役當時既に監視又は偵察の任務以外に就く能はさりし程なれは戰時計畫の艦艇竣成と共に今後の海戰に對する勢力持續の方法に就ても豫て審査中なりしか該案も既に確定せられたるやにて目下着々擴張計畫進捗中なりと

●露公使の讒誣 過日來西園寺首相の滿洲視察以來我國樞要の大官にして同視察の途に上るもの多數なるが之に對し北京駐在露國公使ポコチロフは近頃日本が著名の將軍及び政治家を續々滿洲に送り種々調査をなさしめつゝある其目的は日本が滿洲に於ける全利權を橫奪せんとするの趣旨に出づるものなるが故に斯の如くにして現狀の儘進まは滿洲に於ける日本の勢力は結局日露戰爭前露國が有したる勢力に十倍するに至るへしと北京政府に警告する所ありたりといふ

●本年麥作の增收 本年の麥作は時候適順を得て一般に良好且つ赤黴病等の發生殆と之れ無かりしのみならず特に刈取時にも全國概ね晴天打續き十分に乾燥したるを以て品質に於ても遙に平年以上と認められ農商務省にては前年に比し四分七厘、平年に比し一分五厘の增加即ち優に一千九百八十一萬三千四百九十五石の實收あるへしと豫想し居れり

●文官論功行賞概數 内務省に於ては過般來道府縣長官各事務官其他郡區長市町村長警視警部巡査等の時局に於ける特別の功勞者に對し地方長官の進達書に就き種々取調中の趣きなるか到着の分は大体調査結了せるも未着の府縣ある趣きにて全部調査結了迄には多少の時日を要するならんと而して論功行賞の概數は約一万餘名の多きに達する見込の由

●哈爾賓の製粉業 哈爾賓に於ける露人經營の麥粉製造所は近頃從前營業の四個所を增築し製造高著るしく增加したる由なるが其製出麥粉の性質をメリケン粉に比較するに二等品は優にメリケン粉の一等品と敵し得へしとの事にて將來極東市場に其販路を擴張せんとせは輸出に關する諸般の設備を完成するを以て急務なりとし哈爾賓の當業者は互に協議を遂けたる結果差向東清鐵道の該品運賃率を低減せしめんとして其運動に着手したるか今後專ら烏港を經て極東各地に輸出する計畫なりと

●租借地の版石發見 從來石版印刷に用ゆる版石は總へて獨乙より輸入を仰ぎ從て代價も頗る不廉にして一般石版業の發達を阻害する傾向ありしが今回我關東租借地内に於て偶然右石版印刷に用ゆる版石層を發見し之か試驗の結果頗る良質の物たることを証せられたるを以て將來有望の一新利源たるを失はさるへしといふ

●煙草其他の運賃割引 滿洲に於ける鐵道の貨物運賃に關し豫て陸軍省と大藏省との間に交渉を開始せられつゝありし所今回愈々交渉纒まり煙草其他二三特種の貨物に對し割引を爲すことに決定せる旨或筋へ報知ありたりといふ

●滿洲赤十總會日割 來る九月を期し滿洲各地に於て在滿洲赤十字社員の總會を開催する由は前號の紙上に記載せる所なるが今其日割及び開催地を聞くに九月二日大連、同四日蓋平、同六日營口、同八日遼陽、同十日奉天、同二十一日安東縣なりといふ

●委棄兵器の販賣許可 日露戰役中戰場に委棄せられたる砲彈藥夾等は之を拾得する者あるも我軍憲に於ては一切其販賣を嚴禁し居たりし所今回軍政署の許可を得たる者は之を販賣し得る旨布達ありたりといふ

●遼陽關倉支庫釀造部近況 舊滿洲倉庫時代より引續き倉庫附帶事業として經營せる釀造部は既に普く世人の知る如く鹵獲原料即ち大豆、小麥、食鹽の三種を利用し軍隊に供給する目的を以て味噌並醬油を製造しつゝありしかも製造方は最も嶄新なる進步速成法に據り毫も腐敗變味の虞なく品質精良にして一般の嗜好に適し舊來の普通釀造法に據る製品に比し遜色なきのみか反て之を凌駕する傾あり目下醬油一日平均製造高約八石餘、味噌は昨年製造せる既製品十二万貫を目下盛に再製しつゝあり而して現に大豆在庫高三千石ありといへは尙ほ今後一年有半は製造を持續し得へく且つ同釀造部の供給範圍は啻に遼陽附近の軍隊而已ならす十六、十四の兩師團は云ふ迄もなく遠く韓國駐在の十五師團下へ迄ひ過日は味噌三千五百貫目を同師團部へ輸送したり是を以て睹るに同釀造部の規模小ならさるを識るへく且つ剩餘製品は公衆の需用に應し何時を限らす賣下をなし其價味噌一貫目二十錢、醬油一升三十五錢なりと云ふ

●小野主計正の轉任 元滿倉庫遼陽支庫長より引續き關滿同支庫長として職務に拮据黽勉せられたる小野主計正は今回近衛師團經理部附となり來る中旬出發歸朝の途に就かるゝ由なり

●矢野梶塚兩廠長の視察 戰時中軍隊補給品の劇衝に鞅掌されたる矢野被服廠長、梶塚糧秣廠長の兩氏は去る六日大連を發し七日遼陽着逐次各地を視察すべしと云ふ

●兒島聯隊長(遼陽) 先頃中病痾の爲め引籠療養され居りし兒島六二聯隊長は快癒と共に去る五日二大隊檢閲のため煙臺に赴かれ即日歸隊せられたり

●遼陽貸下家屋の引揚 豫て遼陽在留邦人間の一問題と爲りたる貸下家屋撤去者の内凝塔ホテル及高田洋行の二戸は其筋の必要に迫まられ本月末斷然引揚へき事になりたりと云ふ

●松浦伯爵來る 貴族院議員伯爵松浦厚氏は滿洲内地視察の途次一昨日來營し滿洲ホテルに投宿せられたり

●天幕慰問部の閉鎖(つゝき) 吾人が事業の最初より最終に至るまで吾が陸軍當局者は吾人の事業をして實際的に有効ならしむる爲に書記の自由旅行諸種の材料の自由輸送及び各地點に於ける家屋の貸與等一として特別の便宜方法を採るを許す等最も熱心に協力されたり加之將校の中には吾人の事業を助けんか爲めに時と金とを寄附されたるものあり乃はち關東總督大島大將の如きは本部の事業を永久に繼續せんことを勸奬して近く金千圓を寄附されたるあり陸軍省にては旅順、遼陽、鐵嶺等軍隊駐屯所に於ける本部事業を永久に持續せんとする本部の決意を贊し鐵道及び運送船による凡べての役員及び材料の自由輸送を許す旨を申送され寺内陸軍大臣は特に左記の如き書狀を吾が協會評議員の許に寄せられたり

基督教青年會は戰場に於ける吾が將校下士卒の愉安を計るを主眼として三十七年より三十八年に亘る日露戰役間を通して甚だ仁慈なる行動を採り三十七年十一月初旬先づ鎭南浦に於いて其事業を開始し野戰軍隊の北方展進に隨ひ遂に三十九年三月に至り約二十個月の長日月間滿洲及び韓國に十一個所の地點に於て其事業を經營し多額の金錢と勢力と及び他の一切の手段方法を盡くして遠く故國を離れて征戰に從事する我が將卒をして有益に其閑暇を過さしめ其の計畫と成功の完全を普く戰場に於ける我が軍隊をして承認せしめたり予は其の高貴なる事業の感應の必ずや甚大無邊なるへきを確信す今我が軍の凱旋と共に其の事業の完了を聞くに及び此機會を利用して予が滿腔の謝意を表し同時に本事業に直接間接盡瘁されたる諸氏の崇高なる行爲に對し深く尊重の意を致さんと欲す

明治三十九年五月二十八日 東京に於て 陸軍大臣 寺内正毅

日本基督教青年會會長本田庸一殿

吾人は今幾度か試みられたる基督教信徒組織上に現はれし門戶開放の第一階梯に到着したるを以て帝國軍人に對し永久に本事業に着手せんとするに當り各將卒諸氏の厚意に依賴せさるへからす同時に吾人は本動作の成功に關し協會役員一同は本事業をして此の發達と成功とを致さしめたる日本及び米國の貴ふへき親友に對し吾人の謝意を捧ぐ(をはり)

●銷夏錄

東京の文藝界(二) 鐵城生

▲「青春」は關欽哉、小野繁と言ふ青男青女が戀愛の徑路を描いた者である。春の卷夏の卷が出て今は秋の卷が出て居る。作者の筆は益々渾成の域に達して來た、人情の機微や世の果敢なさを寫して或は艶麗、或は凄絶人をして血涙を灑がしめずんば止まざる慨がある。作者も非常なる抱負を以て執筆して居るといふ事だ。又作者は大にツルゲネフに私淑して居るといふ事だ。何がさて斯かる眞面目なる者が出て來たのを見れば、文壇の前途強ち悲觀す可きではない。

▲近時文壇を騷がせたのは嶋崎藤村の「破戒」である。氏は元新躰詩人であつたが、其後小説界に身を投じた。何しろ二年間の收穫と云ふ五百余頁の大冊である。破戒といふと僧侶の事でも書いた樣だが、さうではない。舞台を信州に取つて、瀬川丑松といふ穢多の小學校教員を主人公にしてゐる。丑松の父は其素性を決して人に明かすなと渠に戒めた。然し或事情からして、渠は其身の素性を告白するの止むを得ざるに至つた斯くて。渠は父の戒を破つたのである。

▲極くの荒筋は斯うであるが、其間に色々の插話がある。何しろ取材の方面が在來の小説と異つてゐるのと、二年間の苦心の作といふので大變文壇を騷がせて、一時は其合評などで雜誌は賑かな事であつた。大抵の人は清新だといつて褒め、或は不滅の大作だなどと云ふ人があるが、黑人筋の方では余り感服して居ないさうだ。文章の冗漫と描寫の存外深刻でないとの非難は到底免れまい。然し予は近頃の文壇の快作として推稱するを憚らない

▲夏目漱石の「吾輩は猫である」も一時大に人の耳目を惹いた。此作に依つて氏は名を成したと云つても宜い。猫が自分の主人の事を話しする事になつてゐる。主人は卽ち作者自身である。觀察の奇警と滑稽諷刺の卓抜とは確に日本文壇にあつては前人未發である。文學の新領土を開拓したと言ふ可きだ。四月の『ホトヽギス』に出した「坊ッちやん」も好評であつた

▲柳川春葉は人情の細微を寫す所頗る有望だと思つてゐたが、此頃では家庭小説といふ狹い天地の中に身を沒して了つた。今の分では大きくなれまい。「不如歸」の作者德富蘆花は文學を棄てゝ宗教の方に赴いた。此間洋行の途に就いた。耶蘇の聖地を訪ねて後トルストイ翁の許に行くのださうだ。青年作家に前途有望なのが居ない樣だが少しく心細い譯だ。

▲戲曲界は至つて寂しい、坪内逍遙の新樂劇「浦島」、「かぐや姫」以來之といつて目星い者は出ない。早稻田の文藝協會や若葉會やで素人芝居は盛に行るが、肝心の脚本が出ないのは何うした者だ。脚本は一寸手をつけ難い故でもあらう。淺野馮虛、戶澤姑射兩氏の沙翁全集飜譯は文壇を稗益すること少くはあるまい。

●目睹耳聞 一千五百年代の終から一千六百年代の初期にかけて世界を擧けて其國民が膨脹的野心に滿されて居た▲蒼海の一粟たる我日本は恰も足利氏の末路で中國筋や九州地の浪人共か當時明人の所謂白胡蝶船と云へは頗る優雅にきこえるのだが其實八段帆か十段帆位の押切船で浙江から福建乃至廣東を股にかけて盛に海賊を働いたものぢや甲螺船即ち倭冦なるものか如何に支那民族を戰慄せしめたかは南清一帶沿岸到處に殘存せる烽火臺若しくは倭賊入冦の碑文に徵しても明白ぢや▲秀吉の幕下で餘り名の聞えない士ぢやが龜井武藏守玆矩と云ふは秀吉が中國平定の功に與つて力ある人で猿面郎がその戰功に報ゆる爲に九州の某地を以てせんとしたら武藏守は固く之を辭して其代りに琉球及び高山國(今の臺灣)を所望した既に戰鬪準備まで調へたのであつたが故ありて事止みになつた▲スルト今度は信長か猿面冠者の功に報ゆる爲に中國を擧けて渠に與へんとした時願はくは臣に賜ふに朝鮮を以てせよと遠大の志望あることを漏らして右府をアツといはした人の故智を襲ふ處なんか今の大將方はとうだか知らぬが昔の豪傑連はナカ〳〵狡黠いテ▲當時支那は又明の社稷漸く傾かんとする穆宗から神宗の時代であつて清祖愛親覺羅氏がムクリと頭を長白山下に持ち上けかけた時代である▲歐羅巴では英國は東印度會社を設立し印度經營の基礎か確立したと思ふと間もなく和蘭も亦東印度會社を瓜哇に設立して嬴けす劣らず相競爭してゐる▲バーソルミウ、ゴスノルド、マツサチユーセツ沿岸に殖民を企てられたも皆其時代である▲歐羅巴は其時代から植民に成功し清國は其時代に覇を天下に稱したのぢやが悲しいことには我日本は其後鎖港主義の德川政策の爲に膨大的海外發展を中止したので今以て立ち後れの氣味があるのぢや

●編輯より 來る二十六日は我社創刊一週年祝日にして又營口占領第二次の紀念日に相當り候爲め聊か當日を慶祝し併せて我紙發展の一新紀元を作爲すべく始めて編輯會議なるものを開き申候其如何なる趣向を以て讀者に見ゆるかは追々御披露致すべく候へども營口六千の同胞亦我社に對抗して此光輝ある紀念日を大々的に祝すべく今より內々下相談位之れありて然るべきかと存じ候粕谷齋藤三野諸豪御意如何に之れあるべきや我編輯會議より思付候まゝ餘計なおセツカイ申上候

汽車時刻

關內外鐵道

上り 營口發前八、二〇 七、〇〇 溝幇子同九、四五 九、〇〇 錦州同后三、四五 二、〇〇 山海關着六、〇〇 八、一〇

下り 山海關發前七、〇五 四、四五 錦州同后三、三五 二、〇五 溝幇子同二、四五 四、四〇 營口着四、五五 七、五一

東清鐵道

上り 營口發前六、三五 后九、三五 大石橋着同七、三〇 一〇、三〇

下り 大石橋發前八、一五 營口着同九、一〇 一一、一〇

新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、三七

溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、三七

會席 營口警務課 三日月

歐米各國最新流行形 西海洋服店 電話百二十七

奉天小南門ノ後 和洋諸雜貨 食料品卸小賣 中越洋行 各種賣藥卸小賣 中越大藥房

天氣豫報

營口地方天氣豫報 自七月五年日後六時 至六月六日午後六時

南又は西ノ風

雜報

●英春畫伯の來營　容齋派より出で、別に一機軸を拔ける宮田英春畫伯は先年南淸より米國に渡航し夫より歐羅巴に遊び勃斯敦に巴里に羅馬に到る處泰西美術の粹を味ひて歸朝せるより一層其技倆を發揮せるが今度更に筆を載せて北淸に漫遊の途次當地に立寄り營分の內靑堆子の春帆樓に寄寓しつゝ普く揮毫の需に應ずと云ふ氏は人物花鳥景色共いづれも佳ならざるに非らざるも就中歷史的美人畫に長じ妙技神に入りて楚々人を動かすものありと云ふ

●滿洲座の一行　遼陽所在軍隊慰問の目的を以て去る五日より五日間開演すると云ふ同座は設備の都合より愈々去る七日開演し最後の二日間は同地居留邦人側男女を問はず觀覽を許容する筈なりといへば今回も定めて盛況ならんとの噂さなるが同座は遼陽を打揚げ次第鐵嶺奉天大石橋旅順の四ヶ所に於て開演する豫定なるが或る一說によれば旅順の打揚を最後とし三同座は解散するに至るべしとなり

●自轉車練習場の設置　二本町日本館向側の空地に於て同町自轉車商中村橘治なる人其筋の許可を得て自轉車練習場を設置し一般初心の人の練習に便すと云ふ無趣味の當地に取りては一興ある思付と謂ふべし

●宿屋の亭主赤恥を搔く　俗諺に腐つても鯛と云ふが之れは腐つても一家の主人公とあるべき者か抱女に對し妾がましき振舞をなして赤恥を搔き而かもそれが白洲の責中とは隨分器量の下つた亭主ドンのお話、玆に元神廟街の宿屋明治館の亭主に濱田安次郞なる眉毛の下つた男あり生れ付いての多情者にて誤亭主相當な女房のあるにも係らず折り抱女を搔き口說きて僅かながらも貸金を踏倒され棒消しの憂目を見し事も一再ならざるに生懲りもなく時々抱女に當りを附けそれが爲め常に一家風波の堪へ間なき程に又もや此間より抱女のツチ、ミツカの兩人に替り〲チヨツカイを掛けて寢間に侵撃して同衾せんとするに二人りの女は主人の事とて最初は風に柳と受け流して取合ざりしが近頃は夜な〲草木も寢靜む牛三つの頃より出で來りて〇〇を〇〇せんとするに二人りの者も今は殆と途方に暮れ如何とも詮術なきがまゝに種々協議を凝したる揚句終に一昨日泣の淚で其筋に訴へ出でたれば係官も餘りの馬鹿〲しさにクス〱と竊に笑を催しつゝ亭主を召喚して其不心得を話し將來を戒めて歸館せしめたりとは餘つ程呆れた誤亭主ドンなり

●壯俳の無錢遊興　小人閑居して不善をなすとは古人の言、壯俳窮して無錢遊興をなすとは伊井一座の囈語、例の馬脚の片割朝長忠男外二名の者一昨々夕午後六時頃より永世街料理店初音に登樓して柄にもなき藝者を聘し飲めや歌へと大騷ぎなしたる揚句イザ勘定となりて請求すれば鐚一文も所持せず明日十一時頃に支拂ふとて其儘出で行かんとするにドツコイ其手は桑名の燒蛤と樓主某が立ち出で、嚴しく請求すれば彼等も止むを得ず其內の一人を人質となし二名は金策をなさんとて出でゆきたるまゝ終に其夜は歸り來らざるに昨日樓主自から營口座に至りて其不都合を責め談判の末終に三名の衣類を差押へて來る十一日迄に金と引換の約束をなして漸く事濟みたりと云ふ

●藝妓下婢の移動　六月三十日當地現在の醜業婦は總數五百三十三人にして中白二十九名は藝妓餘の四百四名は料理店及び旅館の下婢なるが今七月に入りて新に就業したるもの藝妓一人下婢十九人廢業したるもの藝妓五人下婢十一人なりと云ふ尙ほその新に就業するものは元より內地より新に出稼するものなるも多くは再稼又は大連より來るものにして廢業するもの、中には浦鹽方面へ向ふもの多く下婢の中には間々全然廢業歸國するもの少なからずと云ふ

●遊興費六萬圓　去る六月中當地料理店七十二軒に對する總揚高を見るに實に合計銀六萬一千三百六十四圓十二錢此人員一万四千百九十五人にして今之れを內外人に區別すれば西洋人等の消費高二千百三十一圓四十五錢此人員六百五十七人支那人七千二百五十六圓〇三錢人員三千二百十二人軍人三千三百十七圓四十三錢人員六百六十九人內地人四萬八千六百五十九圓〇一錢此人員九千九百五十七人なりと尙之れを二千圓以上揚高の料理店に列擧すれば金城館六千七百三十圓七十錢第三樓四千八百二十八圓五十錢日本館三千七百七十三圓八十八錢祇園閣二千八百八十一圓七十錢醉花園二千圓五十錢等なりと云ふ

●退去處分者の數々　秋田縣生れの上遠野栗吉、青森縣今田源三郞、佐賀縣香月薰、の三名は鐵嶺軍政署より地方の安寧秩序を防害し軍政施行を阻碍する者と認められ向ふ十八ヶ月間又大阪市吉田幾貞は遼陽軍政署より秩序を紊亂する者と認められ三ヶ年間何れも關東總督府管外に退去を命ぜられたりと

●遼陽料理屋見立評(一)　厄介坊

料理屋四十餘戶の內其屋號の紛らはしきより頓だ相違に誤愛嬌を鉼蒔く新來粹人の愚痴こそあれと云ふは外でなく滿洲館に滿洲ホテル、遼東館に遼塔ホテル尙は一つ遼陽館、氣ばりし遊やすめ、塔陽軒に塔下園などの如く早合點に聞流して奇襲を試みるならば夫れてそ目途の大外れ新來粹人の失敗珍談も少なからざるとかや、そこで此の厄介坊人の頭痛を疝氣に病み主なる料理店見立を左に記すこと、なしね

▲遼東館　場所は城內東西筋の邊に偏し極めて不便なれど客室も先づ完美し尙は大廣間あり高等料理を標榜する丈け器具も善く板場の庖刀切味も賞するに足るが上に人氣藝妓のメ八亦此の家に鎭座せり併し料理代は滅法高いとの評あり

▲遼塔ホテル　遼陽で名高き喇嘛塔下の大家屋にして前知州何原琦氏が椽大の筆を染めたる看板に詐りなく高等旅館と目すべきは此の家なれば兼料理が玉に瑕なり土地柄止むを得ずとするも待遇方餘り感心な致されず器具は先づ完美料理も惡しからず粹人の注文は紅裙少しく〇〇

▲藝陽亭　位置は西門外の大通りにて申分なく近頃修築を加へたれば外觀は寔に見事なるも客室は瀟洒せず器具は一通り揃ひおるも板場の腕前なき故にやそれとも原料の仕入を惜むにや料理は平々凡々お話にならず併し解語の花は潤澤にて演藝會に人氣を呼びたる春駒立石繁子は此の家

投書かご

▲東京樓附近の〇〇小料理屋に躰の長ひお役人樣らしき人が登樓して若かい狐に心を奪はれてダネ〲になつて居たのを見た(散歩生)▲五日の投書籠に注告生の一言大に然り然れとも主計や軍屬は軍人とは云へぬかも知れんよ(一考生)▲松岡の何子さんは一見妻君とは見へない憎に〇〇と似寄つて居る僕も間違つたもの況んや外國人に於てヲヤ(カンカン生)▲元神廟街明治旅館屋女等に實に苛酷極まる取扱をなせり日報の記者先生宜敷御精探の上筆誅を乞ふ(實見生)▲最近の人面獸心の所は元神廟の明治旅館々主なり貴社御存知ないのですか若し御存知なくば材料は何時でも供給致しますよ(見聞生)▲二三日前の投書に表面俗善を裝ふて居る〇〇〇の〇〇とあるは生の思ふ男と同一ならん奴は實に大惡漢である斯る徒がモジ〱相變らず肩で風を切つて居るとはアー世の中は盲目者ばかりか(實を知り居る生)▲營口某料理店の奧座敷は賭博の集會場となつて居る某連中は料理店の親爺が三人の其家の夫婦である時折り〇〇も行くからだ(〇▲〇生)▲お千代さん旦那と共に牛家屯散步は餘つ程乙でゲ…ス左僕と福崎洋行であつても知らぬ顏の半兵衞さんとは奧樣になると威張つた者でな(馬賊)▲藝陽亭に近頃內訌を生せり事は去年に胚胎し人情に悖り德義に背き人倫に反す此を筆誅せずんば何をか筆誅せん紀不足下照魔眼を以てせよ(遼陽エツキス光線道士)

日報俳壇　野梅選

課題　集句選　其二

荷より先蠅か若きげり魚市場　千曲
〇手をするよ蠅の魔術の小手調べ　同
移り香の忘れかねたる單衣哉　同
ゝ松は晝ゝ雨の軍やなつの月　孤峰
橋に來て露さる笛や夏の月　同
〇憎しとて打つ手に蠅のとまりけり　同
◎單衣着て砂ふみに出る磯邊哉　同
ゝ慈母か送る單衣で辭する都門かな　鯉峰
驚立つたあとの蘆間や夏の月　雪師
ゝ遼東の夕はすゞしびとへもの　同
ゝ栓援の香野にきくやなつの月　火東
なげ付けて蠅に委したる魚の骨　水哉

廣告

告示

七月四日第八回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし
二、當籤者は七月十五日迄に衞生局に至り當籤札と引替へ賞金受領すべし若し此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す
三、當籤金額
一等　銀五十圓　二等　銀拾圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

譯文

七月四日第八回鼠拈鬮施行而左開得彩號目自示之後十日即七月十五日以內其得彩者各携原領執照往赴衞生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票爲歸廢棄爲此特示
一、定爲
頭等　銀五十圓　二等　銀拾圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

第八回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

二二二　一二一一一　一
一八〇一二六八一〇九〇六八六三一
三四四五九五四二八八八一八一八五
二三五九四九一〇一二二三五一〇　九

二二一一一一一二二　一二　　二二
〇三五五八五〇七六八八七　　七二
三五七〇〇二六〇四九二四三二四九
一二〇二三三二七七九三八九七二三

二一　一　一二　　一一一二一二
七一六〇五三六一五五一一六一二八
七五一一六六三五九一七七八八九九
七四四一二一一八〇五六九二二七〇

一一二二　二一二二二　二一一
九二二一　七五七三一一三二二八
一四八〇二二六五三一三六四〇九一
二〇八三四六七九六一六五五二五五

一　　二　二　一一　　　一一
五五四九七　七八五五三一四　三八
八四七一一九〇一六四五一五八八六
五七一五八五四一四六四四三九一二

新築廣告

鐵嶺西門外停車場通り商品陳列場附近

一、西洋風貸家　間口三間奧行四間　八戶

右は鐵嶺日本建屈指ノ地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ

明治三十九年七月

營口西北街　裕和盛
鐵嶺西門外大街　裕和盛支店

鐵嶺支店雜貨部並に鐵道遼河運輸部をも仝時に落成仕候間移轉の上は大改革を爲し貴需に可應候條御引立の程伏て奉願候

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

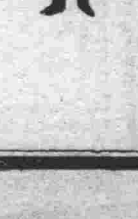
大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
大連盤城町　岡野新聞舖
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

滿洲第一　湯崗溫泉

風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
大石橋　營口　海城　湯崗溫泉全停車場　遼陽　奉天

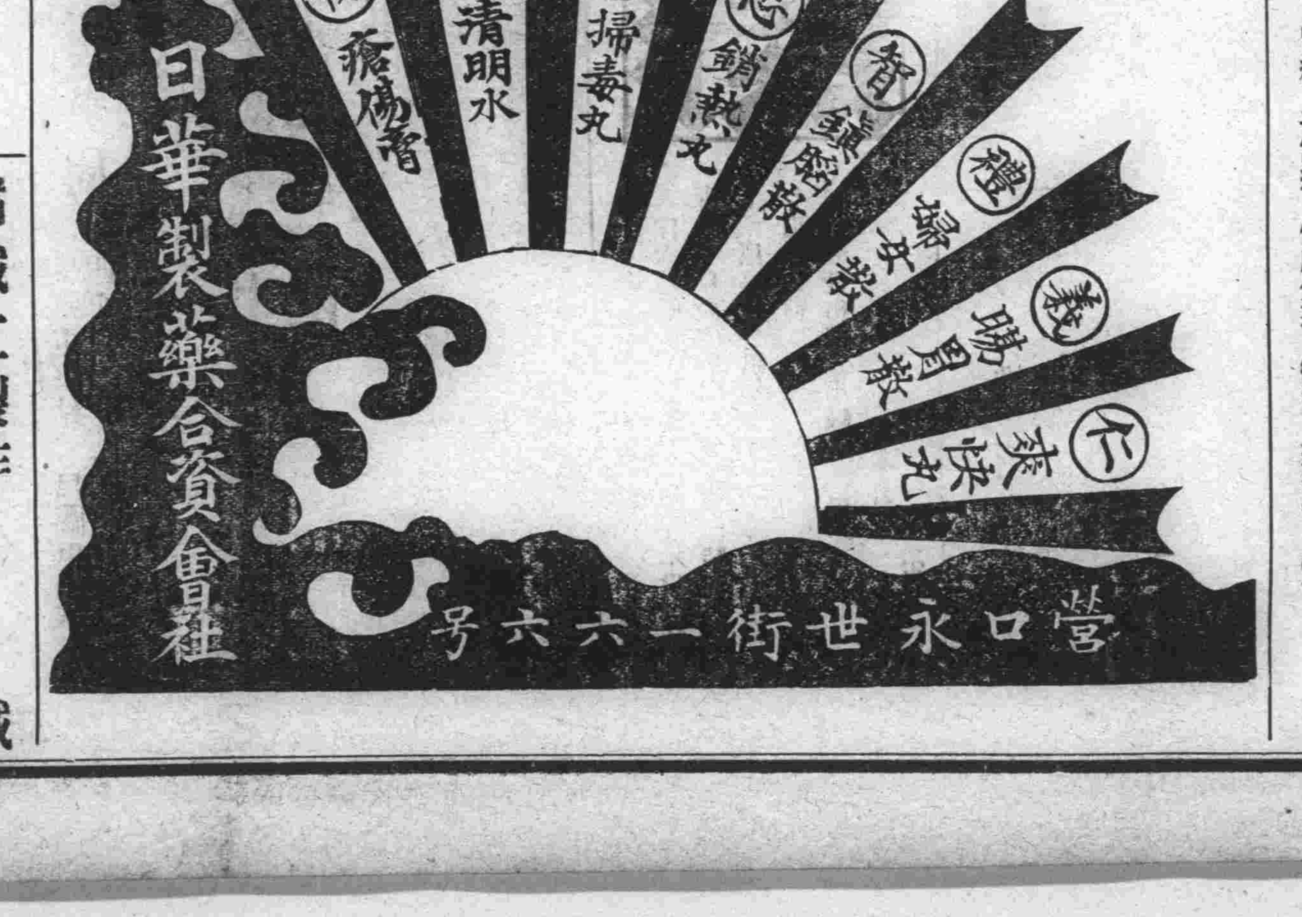
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上唯一樂園　五龍背溫泉



當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
效能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

救治萬病　濟生八方　神効無比



溫泉披露

酷暑の候各位益々御淸福の段奉賀候隨て私儀今回溫泉塲新築致工事落成に付本月三日開業仕候間乍御保養御臨浴あらんことを乞ふ

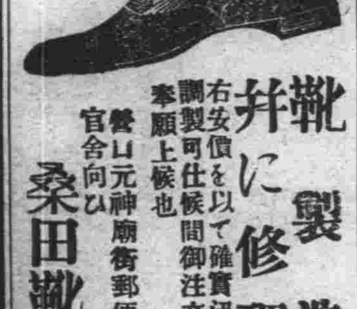
附言　弊店渡淸一周年の祝意として入浴料當分の間普通洗湯と同樣に可致候

本泉効能
一、白帶下、弛緩せる分泌多き潰瘍、僂麻質斯、
一、手掌足蹠腋窩肛圍陰部等の惡臭を放し多汗症
一、濕潤せる皮疹及漫性皮膚病、神經痛

七月　日

營口永世街二本町　常盤溫泉　主人　敬白

各位殿



靴製造幷に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ　桑田靴店

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口ブリツヂ紋定商會門東街　川喜鐵工所

和洋會席　御料理

一、弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町　日本館　(電話百三十)

各位樣

謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇家事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する樣店中車輪の大勉強何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候

御客樣　店一同

營口永世街第壹号　電話四十一番　（彌生跡）

醉月

石材　石灰　大販賣

英治洋行　（營口西北街）（電話三二）

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○醬油　○罐詰
○其他雜貨色々
新着大安賣

㊂　營口西北街　石光洋行

遼陽西門外　石光洋行支店

新着荷

裝飾用簾　洋食用品　肉碎器　秤廿六貫以下種々　手提金庫　コッピー用附屬品

簾掛及附屬品　夏帽子各種　戸田式濾水器　宇治新茶　ワイシャツカラー及　學校用文房具各種　各種復寫簿

關東公司雜貨部　（電話五號）

氷

發賣元　營口元神廟街成功號三階（電話一三四）　田庄臺大盛貯氷公司販賣部

特約店
大連信濃町市場前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衛生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第二市場前　松木氷室

登録商標

准老牌

各國大博覽會名譽賞牌數個受領

けい桂りん林

神効臭蟲藥粉

另名驅除諸蟲藥粉

購置者宜保置於乾燥無濕之處以防過濕氣

大日本始祖　發售本舖　大阪伏見町堺筋東入（電話東二四六六番）（藥價）每鐘洋一角　淸水桂林堂藥房

代售處　營口永世街　回天堂三木大藥房（電話百九十番）
同　遼陽西街　足立大藥房

本堂鑒製神効蟲藥粉專驅除、臭蟲、蚤、虱子、紙蟲、蝎等一切毒蟲效驗頗異常眞希世之妙藥也即床榻、書棚、衣架等之處撒此散所有蟲立皆斃死又有家畜如猫狗鳥類及各種毛皮毛絨等害蟲者擦入散置於羽毛中亦蟲盡死又將此散入火中焚之蚊蟲蒼蠅等聞之或斃或逃然人吳食之毫無貽害眞居家行旅不可久之神散也

廣告

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尙夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高麥酒スペシャルライト等

本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元　大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

白煉瓦　赤瓦　造　並に各種石材販賣

營口青堆子　加州組　（電話八十六番）

醇良日本酒　金線

サッポロビール　孔雀印平野水

大販賣　和洋雜貨　洋酒化粧品　酒類　食料品

千賀洋行　奉天鐘樓南大路西

千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

開店　一週年大賣出し

六月二十五日ヨリ七月十日マデ　正札一割引

東京新形浴衣地
呉服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類

永世街第二市場東　石原商店

御披露

小亭義當樣の御引立に蒙り日に增し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄せ一層勉強仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尙夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候

月　日

元神廟街　翁亭

淡谷木局

本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知謹此廣告

東青堆子橋南　淡谷木廠

資本金參拾萬圓　日淸合股

㊂

營口元神廟街第貳九八號

滿洲昌圖株式會社　營口分局

總局　盛京省昌圖府東街

既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路穩要各站分局現方在設備中倘蒙惠顧貨客親自到本賬房及各處分局賜房面議爲荷特此謹白傳途倘有水濕毁壞短少等之損傷本公司言明送卸地市價包補此

喜久洋行

啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙　中外紳商賜顧者請到本行面議是荷

開設永世街第二小鐵道市場路東

本行主人謹白　（電話一五二）

土木建築用諸木料
板硝子類
マツイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー

廉價販賣

營口青堆子綏定門外　志岐組　商業部

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收む

○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科胃腸病　專門

日本醫院

牛莊松岡病院

內外科眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士　松岡玄雄　（電話一五一番）

宮門抄

十三日缺
十四日
吏部 翰林院 正黃旗值日無引 見 額勒春續假十日 王廷鉞
伺候 召見
召見軍機 王廷鉞
練兵處遞封奏二件 政務處 惲毓鼎 杜本崇遞封奏各一件

上諭恭錄

十四日奉

上諭前據御史黃昌年奏參江西藩司周浩宄法徇私各款當經諭令張之洞確查茲據查明覆奏該藩司貪污縱恣把持省權專任私人之貽誤大局周浩着即行革職至開辦銅元購辦機器諸多不實不盡及官銀號款項並未移還着吳重憙再行澈底嚴查照數追繳以重公款江西補用知府崔湘鑽營謬妄生事害民永新縣知縣張善鐸貪污卑賤小人之尤均着革職永不敘用江蘇補用直隸州知州吳雲貪詐惡劣公款不清試用知縣黃錫光營謀署缺不知廉恥指分江蘇知州徐履泰鄙俗迎合多招物議江西補用知縣張學勤歷充優差捐公肥私試用道陳際清險惡招搖行同無賴均着即行革職江西候補道繆德　濫厠要差衰耄無能着勒令回籍候補知府王祖蔭巧滑專擅難資表率着以州同降補知縣王祖彝品行卑污敗壞風俗丁憂知縣崔寶瑛行徑猥鄙指摘交加知縣宋士元倚勢招搖聲名極劣試用巡檢董鴻品行汚下衣冠敗類均着即行革職幕華枚生查明有無職銜即行斥革並遞解回籍交地方官嚴加管束華玉堂馮心餘馮履卿馮晁均着一併驅除不准逗留江西司事金朝正着拿獲交地方官嚴加管束家丁熊濱着拿獲解回原籍監禁一年限滿仍嚴加管束不准出外生事餘着照所議辦理該部知道欽此

論說

烏里雅蘇臺警備論

陽五月五日。據聖彼得堡專電曰。（俄國有在烏里雅蘇臺。設置領事之公報。該地方人口未滿千數之寒村。而俄國於茲設置領事。其故何歟。蓋覬覦其近傍有大森林也。可知俄國之注目點。實在於斯焉。）讀此電畢。苟注意淸俄之關係者。誠不能以輕忽看過也。夫烏里雅蘇臺。東鄰內蒙古。南連外蒙古。西接新疆省。塔爾巴哈台。北莅露西亞領土。而該地之總稱。實爲新疆省。與外蒙古之關鑰。而緊要之地也。故聖祖皇帝。當康熙五十六年。阿喇布坦之叛將。大軍進剿準噶爾。又乾隆二十年。出大師征討噶爾丹。均以烏里雅蘇臺爲。要隘之軍基。按該地方之地理。該地乃天然由科布多烏梁海之二部。開闢生成。是爲阿爾泰山。四大枝脉中之正北一枝脉。額林哈畢爾噶山之枝脈。（阿爾泰山。與塔爾巴哈台接界。）而沿額爾齊斯河。北向而馳。俄領其東北。則繞特斯河者。爲科布多。內湯努山之小枝脉。所謂湯努山。即元朝勃興之搖籃。而額爾斯河。汲收阿爾泰山西南諸水之注下。即支那西北境之第一巨流也。其水源發於東南。阿爾泰山。又滐泅額林哈畢爾噶山中。激流急湍。直奔馳而注入于塔爾巴哈臺。綏靖城東北。約五百餘華里。即科布多境界之齊桑諾爾湖中。其如在額林哈畢爾噶山中。塔勒奇嶺麓。所稱波羅拉之地方。東則稱達爾達木圖小喀倫。西則稱鄂克拓賽里喀倫。是等地方。皆接額爾齊斯河之兩岸。此一帶延長二百餘里之間。有短草長林。連絡葱翠。沃野茫茫。中原漠漠無數牛羊。作隊成羣其光景眞天然之好牧塲也。特波羅塔拉。其土地最平廣。而水草茂盛。昔曾爲準噶爾人之遊牧塲。然至今日。歸爲塔爾巴哈臺所屬。察哈爾人之遊牧塲。又自波羅塔拉。越塔勒奇山。有一險峻嶺谷。深至數千仞。森林密盛。俗言稱之爲果子溝。以此可推想烏里雅蘇臺。圍繞額林哈畢爾噶山脈。自然成形勝之地。爲大森林之原野地可知。俄人之野欲。莫不垂涎於此者。顧彼俄國。蠶食支那之西北疆土。不止一日。自千七百二十七年。恰克圖條約之訂結。且劃定蒙古西比利亞之境界。爲其通商地。在恰克圖設置稅關及倉庫。逐年向北京進二百人以上之商隊。近來或謀喇嘛教之鼓吹。或用財寶之賄賂。以此爲香餌。勉釣蒙人之歡心。而籠絡愚昧之民族。穩然在內外蒙古。既扶植牢乎不動之勢力。且依千八百五十一年。伊犂通商條約之訂結。在伊犂塔爾巴哈臺。得設置自由貿易之商隊。蓋俄國於該兩處。非但設置領事館。且稱以商隊之保護。至印哥薩克兵之蹤跡。夫謂新疆一省。早已入俄國侵畧之勢力範內者。亦非不正評也。故現今中國頻熱。想行富國强兵之實舉。克期內外各地方之改善。且當時以西北邊疆之警備。認爲今日之急務。而適宜之事勢。則如嚮以長庚任伊犂將軍。又近以肅親王爲理藩院大臣。而使之巡察蒙古之情形。皆無非于對俄之籌策也。然彼俄國之對蒙古經營。逐日進效。唯中國之對俄策。殆有名無實。豈不爲痛嘆哉。又據陽五月念四日。燕都專電曰。（俄國璞科第公使。意爲在支那西邊境。扶植俄國之勢力。以賴託支那邊方一僧團體爲必要。於是向本國政府。具呈秘密之條陳。又請該政府。先在烏魯木齊。及科布多。與烏里雅蘇臺等處。設置四個領事館。前後兩電。果相照符。然則俄國在該三處。設置領事館之一節。雖藉口謂淸俄通商上。爲保護俄人之必要。然內外蒙古關鑰之地點。旣至如此。則中國邊防之事。推而可知焉。噫支那老帝國。空有西北邊之疆土。安知彼有俄國之春蠶。非食盡其桑樹。組織成錦。則其志不已也。今淸俄議約之結果。或致俄國充其慾心。亦未可知。然吾儕亦不忍傍觀中國之累卵。爰以數字之所誌。喝起世人之注意云爾

中外要聞

●報律版權律將次出奏　報律版權律懸議日久茲悉此兩項律文初由商部擬稿二月間已將稿本擬成隨將報律咨送警部其版權律則咨送學部計相懸已有數月大約不久即可出奏云

●吏部議定位置舉人之法　吏部消息言政務處前有一摺擬請將各省舉人分別錄用如在十年之外即以知縣歸截取班選用不及十年者准其補交分發銀兩以知縣分發各省試用等因奉　旨吏部知道現經該部議駁以科舉雖已停止然統計各省新舊舉人不下數萬若僅以知縣錄用則於選補之輪不免擁擠實屬窒礙現擬仍照舊例舉人已逾十年者應以知縣歸部輪選其不及十年者應請以州同鹽大使府經分發省分試用仍令補交分發銀兩等議業於日前具摺出奏奉　旨依議云

●飭查桂省軍務報鎖案　聞戶部近有電致粵督岑雲帥飭將桂省軍務報鎖一案派員詳細查辦云云

●提學史東渡有期　本日各提學史重行聚會訂以十五前後請訓東渡之期當在月底矣

●倫敦火車出軌慘災　英國火車與美國航路接續由普理馬鳥斯埠開往現於倫敦西南鐵路薩里斯普利地方出軌有搭客四十七人中受害者十一人其他美國人二十四名均傷斃機關車出軌與貨車衝突傷斃守衛者餘勢尙與鐵橋撞毀壞馬車三輛聞被害者中有火夫及御者均寸裂云　聞美國著名紳董等亦由紐育府搭乘輪船然尙未登岸直前往薩烏撒木登埠故免此難

●英國海軍演習近況　英國海軍演習一事裝侵擊艦隊者於戰鬬間捕獲斯喀勃羅號意擬全制英國海峽而護國艦隊捕獲水師副提督密崙君搭乘之旗艦維克杜里亞號等竟從激戰後各艦均離開桂普　菲尼斯鐵爾埠

●各省內訌宜防　浙省新城被匪徒圍攻已失陷一節據上海專電已誌昨報茲聞朝廷接得浙撫警電即電飭浙撫赶速派兵勦辦且電飭沿江各督撫設法彈壓地面預防不測聞浙撫刻已奉旨派兵往剿官軍得利想不久將就平靖並聞有人云現有孫文黨羽派人駐在中國各要埠密查消息聚集黨羽擬乘機滋擾又聞直隸內地有匪徒乘米價飛漲造謠惑衆頗妨于[illegible]安故現由袁慰帥電飭各府縣嚴緝匪徒禁止謠言以整頓地面按目下中國十八行省因水旱兩災米穀告匱行市漲昂人心不靖有匪徒乘間煽惑愚民滋生匪亂時有所聞如不速設法防備或恐各省同時激生民變致釀巨患當道諸公宜鑒于浙省民變而豫防之也

雜報

●馬賊蜂起　昨聞北來人云吉林省馬賊遍處嘯集搶掠肆虐月前由長春府白龍駒西約四十淸里附官道兩旁諸鄉村距道或七八里或十數里一切民宅多被賊匪佔據再由奉化縣南直抵鶯鸞樹一帶官道兩旁鄉村民宅亦被賊等强佔居多時着偵探四出如有客商馬車人等於路經過則公然沿途截劫後聞常備軍北來駐紮賊匪尙稍斂跡或聞查道兵力衆强賊即潛行遠遁或聞所過兵力單弱賊即潛居鄉村毫不爲動兵等雖知賊匪底蘊亦不過問因而賊等根蒂仍未拔除云

●落園見鬼　關帝廟西北巷畢家宅院落子園前夜刃傷二命已載報端近聞市人及其園內諸僕所云其開膛破肚之劇名爲大劈棺接五鬼拏田氏非晨間所演乃燈夜所演其扮鬼脚者每掣鍘刀一口重八九斤隻手久擎力猶不勝且燈夜作演用燃酒火之光照射人而若鬼所有臺上扮脚者及其他一切皆若迷茫先見五鬼佈舞臺場而末又一鬼突出縱身踞便從胯下飛掄鍘刀騸而越疾若擲梭拈舞輕如驚翎衆皆愕然呆視忘其所以惟臺下觀者見較常日多扮一鬼疑爲錯誤因多喝采而台上人等爽然省悟急爲究查乃仍扮鬼五人併無多者其跪舞大刀輕疾如梭者皆不知爲誰所扮旋即寂滅衆等詫異多時咸謂未曾祭台之過不意夜間竟有趙姓師徒傷殺殺命之事或曰次日即用演劇之靈旛權作其師徒之引旌導向郊外藁葬焉或有日其師僵斃於地手扼短刀幷未插入創處刀實向內而牢握扣緊經人力破指猶未開閒損折一指乃得脫刀有識者曰該師自傷之創與該弟被戕之創形跡相異其一刀傷痕與另刃傷痕亦自不同該師弟設非同係一刃之痕該師或恐非自傷而斃斯乃市人紛相臆擬究不識死者之隱情焉

●瘋漢傷人　昨由山左蓬萊來人云該城裏有一居民李姓少年現年二十三齡今春因心氣鬱結忽患瘋癇每逢奔出遂擊行人於是婦人孺子見而遁避李之家人鋼李若繫於牢永不許其逃出滋事詎於前數日李偶得一切豆餅刀將索研斷拔關奔出至察院署前遇一行人一刃研傷該人右臂該人號救李疾飛奔至北門又連研傷二人遂奔向水城北關又研傷二人轉奔向一天橋處逢一樵夫李前一刀研落樵之左耳并傷左面半部以上共傷六人幸未有殞命者迨衙署得悉急派差役尋踪捉拏而連緝二日不知影响官長瞋其差人疏懈拘押於衙至三日役等聞一舟子指云蓬萊閣下仙人洞見有一人石掩洞門於內匿身云云役等揭石視之果是瘋者蓋三日水粒未入口焉而尙能札掙跳擲即捉入衙內監禁未悉該邑尊若何辦理云

叢談

●沙三　吳中虎邱繁華甲天下酒樓歌妓畫舫燈船每歲破家其中者不知凡幾尤盛者競渡之戲粉黛雜沓笙歌敖曹踰月不止大率浮薄子弟及富商市賈趨之若狂風雅士之不屑過也有沙三者富而無聞一日偕友往觀買舟不得蓋遊人先期約舟子三日前無空船也沙敗興漸憤而歸次年端午紳富官幕買舟者皆曰沙氏訂矣覓小舟小舟亦然蓋沙於前歲徧召長年篙師予之金約不得載他客屆期置酒招妓廣集親友雖半面識一棹交皆與焉楫楫蘭橈上下千計歌舞盛於往時莫非沙氏客也自時沙之名大噪於吳中黃金買笑紅紬爭迎豪舉數年貲產將盡妻某爭之不得乃析餘田獨與子居沙困甚至衣食不給妻子欲迎養之沙笑曰吾手揮十萬金不數載輒盡今乃仰食於兒女子耶去不顧已而賣寒具市中好歌歌皆述其平日冶遊事寒具者俗所食麻團也里巷小兒及勾欄相識者樂聞其歌爭買之得錢則詣酒肆醉飽以爲常會縣守某公惡民俗奢侈日思所以儆之或擧沙三事以告守撫掌曰吾得之矣又明年端午命備一舟置酒招妓如故即召沙使多挾麻團以來榜其船曰麻團勝會沙至跣一足衣袴襤褸手捧筐籃腰懸破燈自每夕自焰以歸者刻不去身登船放權谷與於彩旗花舫之間守意藉沙作棒喝而沙大快樂令諸妓雜奏絲竹自擕鼓板曼歌以和之酒酣大書聯語云

借景玩龍舟不履不衫　三少爺及時行樂
回頭看虎阜　是眞是假大老官觸目傷心

鉢池山農曰語云不有廢者君何以興財貨消長亦人世得失之林也郡邑之有富戶窮民逐末者仰以爲生人人纖嗇謹秘視一錢如磨石窮民何所沾丐抑果足保世否耶沙雖以狂蕩敗其家產然勝於水火盜賊災病刦奪者遠矣達哉沙也

昨日の氣温　最高温度八十二度六　最低温度六十七度一

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番） 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一六七番、四四番） 店主 熊田兼次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川清三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 登瀛門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百弐十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲館 永世街七號 店主 谷口金彌太郎

料理旅館 醉花園 瀧谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

爲替相場（七月九日）

日本向 百〇一圓七十五錢（電票百圓に付）
上海向 七十一兩二分ノ一（同）
天津向 一百四圓十二錢五厘（百弗に付）
芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘（同）

日本品最近物價表 加藤洋行

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一仙花紙 六十錢
一塵紙 一帖（六十枚） 一圓七十錢
一狀袋 全 二十枚綴 三錢二厘以上四錢
百枚 十三錢以上十八錢

室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一帳圍 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 七圓五十錢以上三十五圓
五圓五十錢以上十四圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一蒲團 十枚 八圓
一麻紗通 全 三圓
一綿加多織 全 一冊數 三圓五十錢
一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚二仙 銀四仙
一ヶ月前金 軍八十仙
半ヶ年前金 銀四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙

第一更科 營口元神廟街 / 第二更科 永世街鶴の湯角 そば

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松德太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 品川館 營口永世街一六一號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野喜吉（電話 號） 奉天小西關大街北側

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーデライシヒ（電話 號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號） 奉天城內旅市街宴華門宮殿東側

旅館料理店 梅松館 館主 押尾富次郎（電話 號）

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の北へ入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五番）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき燒 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西關外大街路北

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主とし旅館を專業に單ら御客樣の御便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

一艀船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第一市場より西へ入る
遼河運輸 同濟公司

營口 加藤洋行

新着
麻座蒲團、新茶、浪花簾、竹製椅子、簿記卓子、コッピープレス、謄寫版、日の丸提灯、ハンモック、蚊張、枕、印刷用紙、茶道具、蠅入らず、漆器各種、帽子、靴、レモン油、理髮道具、フートボール、

◎煉瓦販賣
上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話 號

御料理旅館 三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に壯なる日本風の二棟造家屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主 川上總吉

小料理 滿月 平野町電一六二 滿月支店 平野町入口 店主 青木勝惠

奉天小西關新來當街々 料理本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）

御披露
追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ新に江戶キ粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感せらるゝことゝ奉存候尙樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁あつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散步の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）
營口永世街 旅館支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理支店 金城館
大連市吉野町 御旅館支店 金城館

御旅館 和洋御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部 奉天城內大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫 氷卸小賣所

一週年の祝意 寫眞定價半減 木村寫眞館
弊館爰に一週年之祝意を表する爲め何か面白き趣向を以て御得意樣の御愛顧に報し可申と存じ候處時節柄とて差控ゑ更に突飛の勉强をなし薄利にして勢力を惜まさるの考にて寫眞定價を半減となし艶麗にして巧妙なる寫眞を御寫し申上候間天氣の晴雨に不拘續々御來寫なし被下度候二に兼て此の技に敏腕にして熟練なる村田寫眞師を招聘なし器械の豐富は申二不及館主一同協力嶄新なる技術を盡て御寫し申上候
七月五日より八月五日迄

新着 恵比壽ビール YEBISU TRADE MARK DAI NIPPON BREWERY CO. K.T.D. TOKYO JAPAN 大日本麥酒株式會社
金升洋行 盛進商行

土木建築並ニ測量設計請負 營口青堆子綏定門外 志岐組

盛進商行
革麻坐蒲團
旅用衣裝鞄
婦人用洋傘
洋服附屬品
流行靴各種
椅子類各種
卓子簿記臺
油多加織類
品質の精撰と薄利は弊行不動の主意
幸御愛顧の榮を給はらむ事を伏て奉希上候

大原洋行 永世街第廿八號
白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約
東京タクアン 其外和洋酒類
（無比廉價販賣す）

店頭陳列 つり切
第二回夏もの荷着大賣出
七月三日より十五日まで
從來の通りくじ行景品を呈す
永世街 (キ) 木村呉服店（電話八十八番）